

齋藤榮治 さいとう えいじ ドイツ文學者。明治四十二年七月二十六日山形縣生れ、昭和五十四年一月二十一日歿（九〇一七九）。筆名ニ野新吉。昭和八年東京帝國大學文學部卒。第一高等學校教授、東大教養學部助教等歴任。

譯著書、『ゼーント著『モルトケ』』（昭和十八年一月千石岩波書店）『軍事文化叢書』）、『ホーエンシユタイン著『ゲーターピラミッド』』（昭和二十一年五月）千石櫻井書店）、『ドイツ文學』 ドイツ文學 『悲劇性とその超克』 いおける（合著・日本獨文學會編、昭和二十四年五月）千石郁文堂書店）、カロッサ作『幼年時代』（昭和二十八年六月五日岩波書店）『岩波文庫』）、ジンメル著『藝術哲學』（昭和二十年五月五日岩波書店）『岩波文庫』）、サロッサ作『若き日の變遷』（昭和二十年十月）千石岩波書店）『岩波文庫』）、ワルター・カヴァーイツェル作『永遠の誓』（二浦敏郎共訳、昭和二十二年六月）千石白水社）、レッシング著『ラオコオン』 絵画 『文学とその限界』 いん（昭和四十五年一月十六日岩波書店）『岩波文庫』）等。

